

# お客様ご相談窓口

修理・お取り扱い・消耗品や部品ご購入などのご相談は、まずお買い上げの販売店にお問い合わせください。  
ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、弊社の窓口「お客様ご相談センター」にお問い合わせください。  
所在地・電話番号などは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

ホームページのご案内 部品・消耗品・別売品のご購入専用ページ  
<http://www.zojirushi-de-shopping.com/>

お客様からご提供いただく「お名前・ご住所・電話番号など」は、製品のアフターサービスおよびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承願います。

## 保証書

| 電気ポット保証書   |                 | 持込修理 |
|--|-----------------|------|
| 取扱説明書・本体表示などの注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理いたします。<br>製品と本書をご持参のうえ、お買い上げの販売店にお申しつけください。製品のある場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送料などの実費を申し受けます。  |                 |      |
| 型名   | CH-CN10         | 修理メモ |
| ※お名前   |                 |      |
| ご住所  | 〒               |      |
| ※お買い上げ日  | ※販売店名・住所<br>年月日 |      |
| 保証期間<br>お買い上げ日より   | 本体1年            |      |
| ※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。   |                 |      |
| 1. ご転居・ご贈答品などお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社のお客様ご相談窓口にご連絡ください。<br>2. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。<br>(イ) 使用上の誤りや不当な修理・改造による故障および損傷。<br>(ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。<br>(ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害・塩害・ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧・指定外の使用電源(電圧・周波数)などによる故障および損傷。<br>(二) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。<br>(ホ) 車両・船舶などに搭載された場合の故障および損傷。<br>(ヘ) 本書のご提示がない場合。<br>(ト) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。<br>(チ) 消耗品などの交換。 |                 |      |
| <b>象印マホービン株式会社</b><br>〒530-8511 大阪市北区天満1丁目20番5号 ☎ (06)6356-2451  |                 |      |

### 愛情点検

### 長年ご使用の電気ポットの点検を!



こんな症状は?  
ありませんか?

- ご使用中、コード・差込みプラグが異常に熱くなる
- 保温ランプに切りかわらないときがある
- その他の異常や故障がある

▶ ご使用中止

こんな症状のときは、故障や事故の防止のため、必ず販売店に点検(有料)をご相談ください。

CH-CN10型 ①②③

ZOJIRUSHI

## 電気ポット 型名 CH-CN10 型

### 取扱説明書

CH-CN



●このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管してください。

保証書つき

### もくじ

### お使いになるまえに

|            |   |
|------------|---|
| 安全上のご注意    | 2 |
| 各部のなまえと扱い方 | 4 |

### 使い方

|        |   |
|--------|---|
| 湯をわかす  | 5 |
| 湯を注ぐ   | 6 |
| 残り湯をする | 6 |
| 空だき防止  | 6 |

### お手入れ

|               |   |
|---------------|---|
| お手入れ          | 7 |
| クエン酸洗浄(ピカボット) | 7 |
| 部品の交換・購入について  | 8 |
| ●内ふたパッキンの交換   | 8 |

### 困ったときに

|            |     |
|------------|-----|
| 商品Q&A      | 8   |
| 故障かなと思ったとき | 9   |
| 仕様         | 9   |
| アフターサービス   | 9   |
| お客様ご相談窓口   | 裏表紙 |
| 保証書        | 裏表紙 |

●この商品は水をわかして保温するタイプで沸とうはしません。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人の危険、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の区分で説明しています。

**△警告** 死亡や重傷に結びつく恐がある内容です。

**△注意** 軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく恐がある内容です。

■お守りいただく内容を、次の区分で説明しています。

**○** してはいけない「禁止」内容です。

**!** 実行しなければならない「指示」内容です。

## △警告

|               |  |
|---------------|--|
| <b>△分解禁止</b>  | 改造はしない。また修理技術者以外の人は分解したり修理をしない<br>火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または弊社のお客様ご相談窓口にご相談ください。   |
| <b>△水ぬれ禁止</b> | 水につけたり、水をかけたりしない<br>流し台など水にぬれた場所に置かない<br>ショート・感電の恐れがあります。  |
| <b>△ぬれ手禁止</b> | ぬれた手で差込みプラグを抜き差ししない<br>感電やけがをすることがあります。  |
| <b>△接触禁止</b>  | 注ぎ口に手を触れない<br>やけどをすることがあります。<br>特に乳幼児にはさわらせないようにご注意ください。   |
| <b>△禁 止</b>   | 子供だけで使わせたり、<br>幼児の手の届くところ<br>で使わない<br>やけど・感電・けがをする<br>恐れがあります。   |
| <b>△禁止</b>    | コードや差込みプラグ<br>が傷んだり、コンセント<br>の差し込みがゆるいと<br>きは使用しない<br>感電・ショート・発火の原因<br>になります。  |
| <b>△禁止</b>    | 本体を抱きかかえたり、<br>傾けたり、ゆすったり、<br>上ぶたを持って移動や<br>排湯をしない<br>湯が流れ出で、やけどの恐<br>れがあります。  |
| <b>△禁止</b>    | 水を入れて保冷用に使<br>わない<br>結露が生じ、感電・故障の恐<br>れがあります。  |
| <b>△禁止</b>    | コードを傷つけない<br>無理に曲げたり、引っ張っ<br>たり、ねじったり、たばねたり、<br>高温部に近づけたり、<br>重いものをのせたり、挟み<br>込んだり、加工したりする<br>とコードが破損し、火災・感<br>電の原因になります。  |
| <b>△禁止</b>    | 満水表示以上の水を入<br>れない<br>湯がふきこぼれ、やけどの恐<br>れがあります。<br>  |
| <b>△禁止</b>    | ポットを転倒させない<br>湯が流れ出で、やけどの恐<br>れがあります。  |
| <b>△禁止</b>    | 交流100V以外では使<br>用しない<br>火災・感電の原因になります。  |
| <b>△禁止</b>    | 水以外のものを入れたり、<br>わかしたりしない<br>泡立ちが起り、内容物がふ<br>き出してやけどの恐れがあ<br>ります。また水路が詰まつた<br>り内容器の焦げつきや腐食の<br>原因になります。<br>•牛乳・酒・スープ・備長炭・<br>ティーバッグ・お茶の葉<br>•インスタント食品の調理<br>•レトルト食品のあたためや<br>食材をボリ袋などに入れて<br>加熱する調理 |

●お買い上げの製品と本書に記載したイラストは異なることがあります。

## △警告

|              |   |
|--------------|---|
| <b>△禁止</b>   | マグネットプラグの先端<br>にピンなど金属片やご<br>みを付着させない<br>感電・ショート・発火の原<br>因になります。  |
| <b>△禁止</b>   | マグネットプラグをな<br>めさせない<br>感電やけがの原因になりま<br>す。特に乳幼児にはさわらせ<br>ないようご注意ください。  |
| <b>△禁止</b>   | 内ぶたパッキンが白く<br>変色したら交換する<br>傾けたり誤って倒したとき<br>に湯が流れ出でやけどの恐<br>れがあります。  |
| <b>△禁止</b>   | 上ぶたは確実に閉める<br>倒れたときに湯が流れ出で<br>やけどの恐れがあります。  |
| <b>△必ず実施</b> | 差込みプラグはコンセ<br>ントの奥までしっかりと<br>差し込む<br>感電・ショート・発煙・発火<br>の原因になります。   |
| <b>△必ず実施</b> | 差込みプラグの刃(プラ<br>グの先端)および刃の<br>取付面にはこりが付着し<br>ている場合はよくふく<br>火災の原因になります。   |
| <b>△必ず実施</b> | 定格15A以上のコン<br>セントを単独で使う<br>他の器具と併用すると分岐<br>コンセント部が異常発熱し<br>て発火することがあります。  |
| <b>△必ず実施</b> | 上ぶたは確実に閉める<br>倒れたときに湯が流れ出で<br>やけどの恐れがあります。  |
| <b>△必ず実施</b> | 異常・故障時には直ちに<br>使用を中止する<br>そのまま使用すると発煙・発火・感電・け<br>がに至る恐れがあります。<br><異常・故障例><br>•差込みプラグ・コードが異常に熱くなる<br>•コードに傷がついたり、触れると通電し<br>たりしなかったりする<br>•本体が変形したり、異常に熱い<br>•本体から煙が出たり、焦げくさいにおいが<br>する<br>•本体の一部が割れたり、ゆるみやがた<br>つきがある<br>•蒸気が勢いよく出て、保温に切りかわら<br>ない<br>このような場合は、すぐに差込みプラ<br>グを抜いて、販売店に必ず点検・修理を依頼<br>する |

## △注意

|              |   |
|--------------|---|
| <b>△禁止</b>   | 上ぶたを開けるとき、<br>出る蒸気に触れない<br>接触禁止 やけどの原因になります。  |
| <b>△禁止</b>   | 湯わかし中は、湯を注が<br>ない<br>湯が飛び散りやけどの原因<br>になります。   |
| <b>△禁止</b>   | 専用の電源コード以外は<br>使用しない<br>電源コードは他の機器に<br>転用しない<br>また海外仕様の電気製<br>品に使用しない<br>故障・発火の恐れがあります。 |
| <b>△禁止</b>   | 壁や家具の近くで使わな<br>い<br>蒸気または熱で壁や家具を<br>傷め、変色・変形の原因にな<br>ります。                               |
| <b>△禁止</b>   | 不安定な場所や熱に弱い<br>敷物の上では使用しない<br>火災の原因になります。   |
| <b>△禁止</b>   | 熱源のそばやIH調理器の<br>上で使用しない<br>火災・故障の原因になります。   |
| <b>△必ず実施</b> | 使用時以外は、差込みプラ<br>グをコンセントから抜く<br>行為がややけど・絶縁劣化に<br>よる感電・漏電火災の原因<br>になります。                  |
| <b>△必ず実施</b> | お手入れは冷めてから<br>行う<br>高温部に触れ、やけどの恐れ<br>があります。   |
| <b>△必ず実施</b> | 差込みプラグを抜くとき<br>は、コードを持たずに必ず<br>先端の差込みプラグ<br>を持って抜く<br>感電やショートして発火す<br>ることがあります。         |

## お願ひ

|                                     |  |
|-------------------------------------|--|
| <b>■空だきはしない</b>                     | 火災・故障の原因になります。   |
| <b>■落とす、ぶつけるなどの衝撃を<br/>与えない</b>     | 故障・破損の原因になります。   |
| <b>■本体を引きずって移動しない</b>               | 机などに傷がつく恐れがあります。   |
| <b>■他の電気機器に蒸気が当たる<br/>場所では使用しない</b> | 蒸気により、電気機器の火災・故障・<br>変色・変形の原因になります。                                  |
| <b>■ラジオなどの近くで使わな<br/>い</b>          | ラジオ・テレビ・無線機・インターホン<br>などへの影響のないところまで離して<br>使ってください。雑音が入る恐れ<br>があります。 |

# 各部のなまえと扱い方

内ぶたパッキン



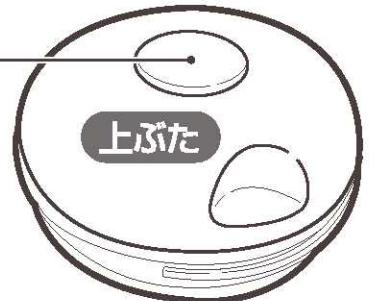
- 内ぶたパッキンが白く変色したら交換してください。(有償)→P.8 傾けたり誤って倒したときに、湯が流れ出てやけどの恐れがあります。

上ぶたの開け方・閉め方



- 上ぶたを閉めるときは、「合わせマーク」の位置まで確実に閉めてください。(注ぎ口以外から湯が流れ出て、やけどの原因)

プッシュボタン



満水表示  
(△ここまで)

内容器

注ぎ口

ここから湯が出る

給水表示

- 必ず表示以上水を入れてください。

ハンドル

プラグ差込み口

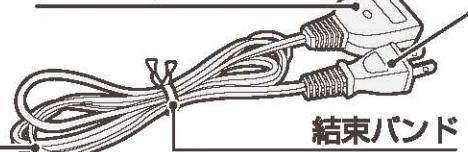
マグネットプラグを差し込む

「保温」ランプ

「わかす」ランプ

電源コード

マグネットプラグ



差込みプラグ

- 使用の際にはコードを束ねている結束バンドをはずしてください。
- コードは束ねて使用しないでください。(コードが熱くなり、故障の原因になります。)

# 湯をわかす

## 1 水を入れる

- ①上ぶたをはずす
- ②別の容器で水を入れる
- ③上ぶたを閉める



- 初めてお使いになるととき
- 長期間お使いにならなかったとき
- 一度湯をわかし、湯をすべてからご使用ください。

- ミネラルウォーターの使用について
- 一部のミネラルウォーターを使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分(ミネラル分)であり、有害ではありません。

お願い

- 蛇口から水を直接入れたり、流し台に置いて底面をぬらないでください。(本体に水が入り故障の原因)
- 本体に水がかからないように注意してください。(水が入り故障の原因)
- 「満水表示」以上、水を入れないでください。(湯が注ぎ口から飛び散り、危険)
- 水以外のものは入れないでください。
- 市販の水質改質材(炭など)やミネラル添加材を入れて使用しないでください。(かけらが詰まり故障の原因)

## 2 プラグを接続する

プラグを接続すると「わかす」ランプが点灯し、自動的に湯わかしが始まります。



お願い

- マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみを付着させないでください。

## 3 湯わかし → 保温

湯わかしが終わると「わかす」ランプが消灯、「保温」ランプが点灯し、保温に切りかわります。



湯わかし時間 約12分

(室温23℃、水温23℃、満水の場合)

保温中「わかす」ランプが点灯し、再度湯わかしをすることがありますが、故障ではありません。

お願い

- やけどの恐れがありますので、以下の内容をお守りください。
  - ・「わかす」ランプ点灯中は移動させたり上ぶたを開けない
  - ・湯わかし中は湯を注がない

# 湯を注ぐ

プラグをはずし、ハンドルを持って傾けて湯を注ぎます。

## プッシュボタンの使い方

### 注ぐとき

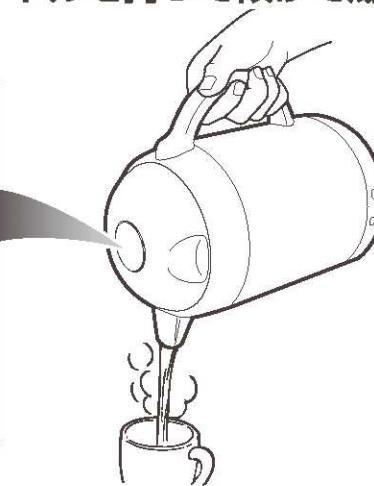


プッシュボタンを押し、図のような状態にすると注げます。

### もどすとき



もう一度プッシュボタンを押し、図のような状態にもどします。



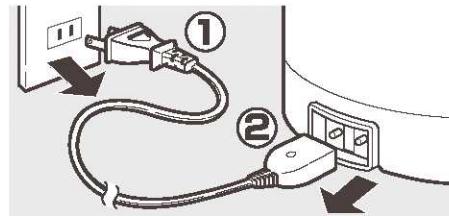
- 保温するときは再度プラグを接続してください。プラグをはずすと保温できません。

### お願い

- プッシュボタンをもどした状態であっても、本体を傾けたり、ゆすったり、転倒させたりすると注ぎ口より湯が出ることがありますので絶対にしないでください。

# 残り湯をする

## 1 プラグを抜き、上ぶたをはずす



### お願い

- ぬれた手で差込みプラグやマグネットプラグを持たないでください。(ショート・感電の恐れ)
- 注ぎ口からのしづくが手にかかるよう注意してください。(やけどの原因)
- ハンドル・プラグ差込み口に湯がかからないよう注意してください。(やけど・故障の原因)

## 2 両手で本体を持ち、残り湯をする

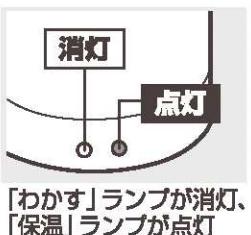


### お願い

- 1日1回は残り湯をしてください。(水アカの付着の原因になります)

## 空だき防止

給水表示以下でプラグを接続した場合、過熱による故障を防ぐために空だき防止機能がはたらいて、湯わかしヒーターへの通電を止めます。



# お手入れ

必ずプラグを抜き、残り湯をして、本体が冷めてから行ってください。

- 底がぬれた状態で製品を逆さまにして乾燥させないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)

- シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし類(ナイロン・金属製など)・漂白剤などを使わないでください。(内ぶた・内容器が傷つく原因)

- 食器洗い乾燥機・食器乾燥器を使用しないでください。(樹脂の変形の原因)

- 長期間使用しないときは、十分乾燥させて、ニオイがつかないようにし、ポリ袋などに入れて保管してください。

## 本体・上ぶた

### よく絞った柔らかい布で汚れをふき取る

- 丸洗いは絶対にしないでください。(内部に水が入り、故障・さびの原因)

## 内ぶた

### ぬれた柔らかいスポンジでふき取る

## 内容器

### 定期的にクエン酸洗浄をする → 下記参照

#### このようなときに…

- 赤さび状の斑点(もらいさび)がある
- 乳白色・黒色などの変色・膜状のものが浮遊している  
(使用される水質や湯わかしの回数によって)  
(汚れの状態は違ってきます。)

## 電源コード

### 乾いた柔らかい布で汚れをふき取る



## 1~3ヵ月に1回は クエン酸洗浄(ピカポット)

### お願い

泡立ち、ふきこぼれ防止のため弊社のピカポット(ポット内容器洗浄用クエン酸)をお使いください。(別売品) → P.8

## 1 コップにクエン酸30gを入れて、ぬるま湯で溶かし、内容器に水といっしょに満水表示(△ここまで)まで入れる

## 2 上ぶたを閉め、プラグを接続して湯をわかし、約1時間保温する

## 3 プラグ・上ぶたをはずして湯をする

## 4 水だけをわかし、湯をコップ1杯程度注いだあと、残りの湯をする (内容器および注ぎ口内部をすすぐため)

- 水は満水表示以上入れないでください。(ふきこぼれる恐れ)

- 汚れが落ちにくい場合は、繰り返しクエン酸洗浄をしてください。

- アルカリイオン水をご使用になる場合は内容器にカルシウムが付着しやすくなります。また、内容器に付着した水アカなどの汚れをそのままにしておくと、湯わかしの音が大きくなります。

# 部品の交換・購入について

- 損傷した場合は、新しい部品と交換（有料）してください。
- 消耗品は保証期間内でも「有料」とさせていただきます。
- お買い求めの際には製品の型名および部品名をご確認のうえ、お買い上げの販売店でお求めください。  
(ホームページでのご購入は裏表紙参照)

| 部品名 | 部品番号                            |           |
|-----|---------------------------------|-----------|
| 消耗品 | 内ぶたパッキン                         | 626053-00 |
| 別売品 | 電源コード                           | CD-KD07-J |
|     | ボット内容器洗浄用クエン酸<br>ピカボット（30g×4包入） | CD-KB03-J |

## 内ぶたパッキンの交換

内ぶたパッキンは消耗品です。1年を目やすにご確認ください。

### はずし方

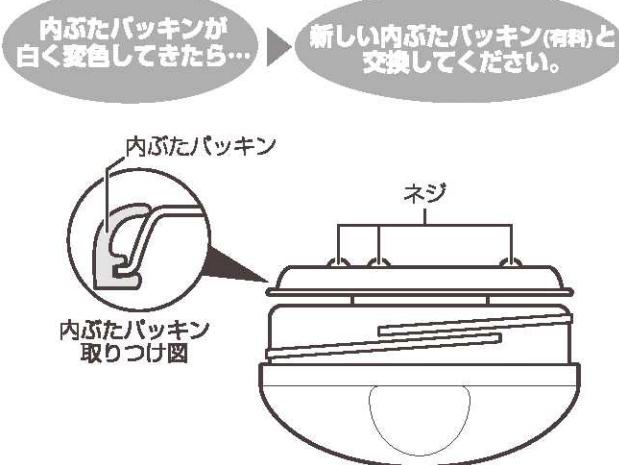
- ①3本のネジをゆるめる
- ②内ぶたパッキンをはずす

**お願い** ●ネジは上ぶたからはずさないでください。万一はずれた場合、ネジをなくさないでください。

### つけ方

- ①内ぶた外周に、内ぶたパッキンを図の通りきっちりとはめ込む
- ②ネジを確実に締めつける

**お願い** ●内ぶたをはずした場合は、正しく取りつけてください。



内ぶたパッキンが白く変色すると、傾けたり誤って倒したときに、上ぶたと本体のすき間から湯が流れ出でやけどの恐れがあります。

## 商品Q&A

|                        |  |       |
|------------------------|--|-------|
| 水以外のものを入れてもいいのですか？     | 故障の原因や、入れたものがふき出してやけどの恐れがあります。水以外のものは入れないでください。                                      | ▶ P.2 |
| 毎日湯はかえないといけないのですか？     | 水アカ付着の原因になりますので、1日1回は、残り湯をすべてください。   | ▶ P.6 |
| ミネラルウォーターを使用してもいいのですか？ | 一部のミネラルウォーターを使用すると、水面に細かな浮遊物や内容器に乳白色のザラザラしたものがつく場合があります。これは水の成分（ミネラル分）であり、有害ではありません。 | ▶ P.5 |
| アルカリイオン水を使用してもいいのですか？  | アルカリイオン水をご使用になると、内容器にカルシウムが付着しやすくなります。まめにお手入れをしてください。                                | ▶ P.7 |
| クエン酸洗浄中に湯を飲んでしまった！！    | クエン酸洗浄剤に記載されている内容に従ってください。   |       |

# 故障かなと思ったとき

修理を依頼される前に、一度お調べください。

| 症 状                                 | 原 因   | 処 理                                     |
|-------------------------------------|---|---|
| 通電しない<br>(「わかす」ランプ<br>「保温」ランプがつかない) | プラグがはずれていませんか?<br>マグネットプラグの先端にピンなど金属片やごみが付着していませんか? | ▶ プラグを差し込んでください。<br>▶ 金属片やごみを取り除いてください。 |
| 湯がわかない<br>(「わかす」ランプに切りかわらない)        | 湯(50℃以上)を入れていませんか?                                  | ▶ 水または低温の湯を入れてください。                     |
| 湯が注ぎ口より飛び散る                         | 水を満水表示以上入れていませんか?                                   | ▶ 水を満水表示以下に減らしてください。                    |

### 上ぶたの樹脂部品について

- 上ぶたの樹脂部品は、ご使用にともない傷んでくる場合があります。食品衛生上安全な材料を使用していますが、樹脂部品が変色したりザラザラしてきた場合は、交換（有料修理）してください。

## 仕様

| 型 名           | CH-CN10                        |
|---------------|--------------------------------|
| 定 格 容 量       | 1.0L                           |
| 電 源           | 交流100V 50/60Hz                 |
| 消 費 電 力       | 430W                           |
| 消費電力量         | 年間 229kWh/年<br>1日当たり 0.63kWh/日 |
| コ ー ド の 長 さ   | 1.4m                           |
| 外 形 尺 法 (約cm) | 幅15×奥行21.5×高さ24                |
| 質 量 (コード含む)   | 約1.0kg                         |

●消費電力量とは、日本電機工業会自主基準による測定の場合です。  
(室温23℃、湯わかし2回/1日、保温23時間/1日、365日/年間)

●特定地域(高い山・厳寒地)においては、所定の性能が確保できないことがあります。こうした場所での使用はなるべくお避けください。

●この製品は、日本国内交流100V専用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance was designed for use in Japan only where the local voltage supply is AC100V and should not be used in other countries where the voltage and frequency vary. After sales-service for this appliance is not available outside of Japan.

## アフターサービス

### 1. 保証書の内容のご確認と保管のお願い

必ず販売店印およびお買い上げ日をご確認のうえ、お買い上げの販売店から受け取り内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

### 2. 保証期間は、お買い上げ日より1年間

ただし、内ぶたパッキンは消耗品のため、保証期間内でも「有料」です。

### 3. 修理を依頼されるとき

#### 《保証期間中》

製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容に基づき修理いたします。

#### 《保証期間を経過しているとき》

修理すれば使用できる製品は、ご要望により有料修理いたします。

### 4. 補修用性能部品※の保有期間は、製造打ち切り後 5年間

※性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 5. 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。「技術料」は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

「部品代」は、修理に使用した部品および補助材料代です。「出張料」は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

■お客様ご自身での修理・分解や改造は絶対にしないでください。